

# 旭ろうさい病院ニュース

病院情報誌 増刊号

令和5年5月吉日発行

発行所：旭ろうさい病院

〒488-8585

尾張旭市平子町北 61 番地

TEL 0561-54-3131

## 婦人科のご案内

婦人科部長 浅井 英和



**ご挨拶**：この度、旭ろうさい病院婦人科部長として2023年4月1日より赴任しました、浅井英和です。33年間勤務しておりました公立陶生病院より瀬戸旭地域の先生方には多大なご指導いただきありがとうございました。引き続き瀬戸旭地域の医療に努めさせていただき所存でございますので、よろしくお願いいたします。

今までは婦人科腫瘍専門指導医として多くの手術に携わってきましたが、今後は悪性腫瘍の早期発見はもちろんのこと、以前からも専門外来を行ってきた女性のヘルスケアを中心に行う予定であります。

### **当院での診療**

**婦人科悪性腫瘍の早期発見**：当院では子宮頸部細胞診に液状化細胞診（liquid-based cytology:LBC 法）を採用、より精度の高い細胞診を行なっています。判定不能を繰り返す方等、お困りの方はご検討ください。閉経期あたりからの不正性器出血、内膜肥厚に対し、吸引法、搔爬術を行なっていきます。ゾンデ挿入困難、痛みの強く、お困りの際は遠慮なくご相談下さい。また当院にはCT、MRIがあり、単純および造影の検査ができます。卵巣がん、子宮肉腫等の悪性腫瘍の精査が容易にできますので、ご相談ください。なお、コルポスコープ、ヒステロスコープによる精密検査は準備中です。ご迷惑おかけしております。準備出来次第ご報告させていただきます。

**\* 骨粗鬆症**：高齢化社会にともなひ、閉経後からの身体の変化による疾患も増えてきます。閉経後より急激に骨塩量が減少する閉経後骨粗鬆症は平均寿命が90歳を越えようとしているわが国では、将来の骨折など大きな問題となってきます。特に脊椎圧迫骨折、大腿骨頸部骨折によるADLの低下は寝た

きり、またそれに伴う合併により、寿命の短縮に大きく影響するとされています。当院で行なっている骨塩定量測定はDXA法で他の方法に比べ測定精度が高く、骨塩量が減少するとADL低下の影響の大きい部分を測定できるメリットがあります。測定に用いるX線は極めて少ない量です。また他の測定で骨塩量をフォローされている施設では、1年から数年に一回確認で測定されるのもおすすめです。ご気軽に相談ください。

**\* 思春期、更年期障害**：以前より悪性腫瘍手術による閉経前での卵巣欠落症候群の治療も長年治療してまいりました。HRT、漢方薬治療による、身体および心のケアも行なっていきます。（ただし、うつ病等の精神疾患に及んだ方には心療内科、メンタル科の紹介をお勧めします。）

**\* 月経困難症、過多月経**：若年者の月経困難症は、学力の低下、貧血や内膜症発生にも関与しているとの報告がされています。小児科と連携し、LEP等の導入をお勧めしています。場合によっては画像診断による卵巣腫瘍等の器質的疾患の鑑別診断も大切と考えております。40歳代以降は子宮内膜ポリープ、子宮筋腫（特に粘膜下筋腫）、子宮腺筋症、子宮体癌が発生している場合があり、ホルモン療法中の患者さんの中では、突然の多量な出血で輸血に至る症例が多数報告されています。まずは細胞診、組織診、画像診断（怪しければMRIがベターです）等での治療前精査が大切と考えます。ご相談いただければ幸いです。これらが明らかな場合、クリニックでの薬物療法、子宮内黄体ホルモン放出システム（ミレーナ）を安全に継続していただければ幸いです。



幸い旭ろうさい病院は、CT、MRI、骨塩定量測定と設備が整っています。ご気軽にご相談いただければ幸いです。

**最後に**：引き続き瀬戸旭地域の医療に努めさせていただき所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。